

# 統計データベースシステムの 構築と利活用

データマップから分析する福井市の姿

福井市 企画政策部 情報システム室

# 統計データを取り巻く現実

- 所管の統計業務は実査のみに終始し手一杯
- 統計データがきちんと整理されていない
- 庁内的なニーズに対応し切れなかった
- 庁内の各々の業務上作成したデータも埋もれている

# システム構築の契機

庁内に蓄積されている統計データを  
明日の福井市をシミュレーションし都市間競争に活用したい

## ■ 国の指定統計調査(56)の成果

書籍からCD-ROMへ (電子データ化 = 加工が容易に)

## ■ 市独自の統計データ

各業務で作成・整備

## ■ GIS技術の活用

# システム化のメリット

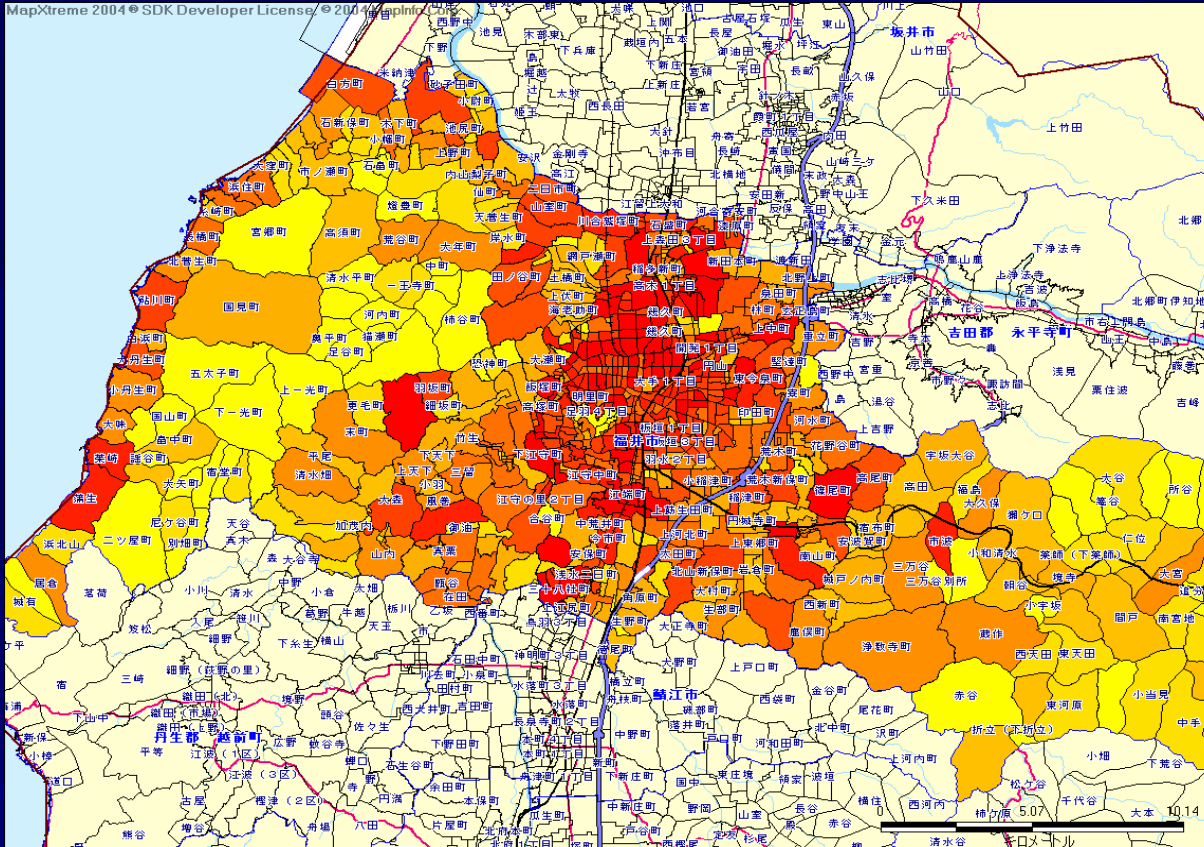


関連性？  
地域特性？  
全体像？

「表」という表現では  
それらの理解は困難



# システム化のメリット



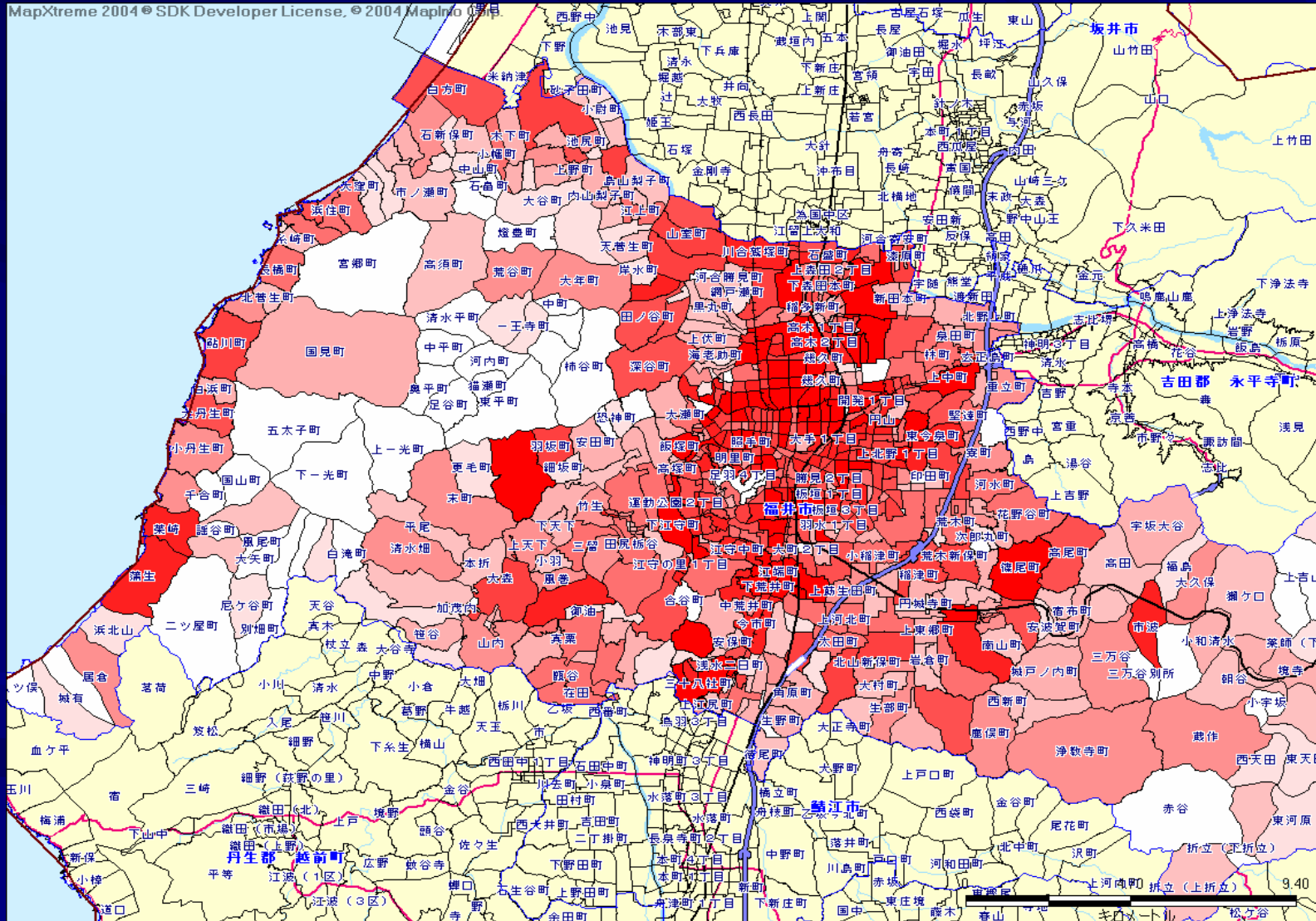
GIS技術を用いてデータマップ化することで視覚的理解が可能に



# システム化のねらい

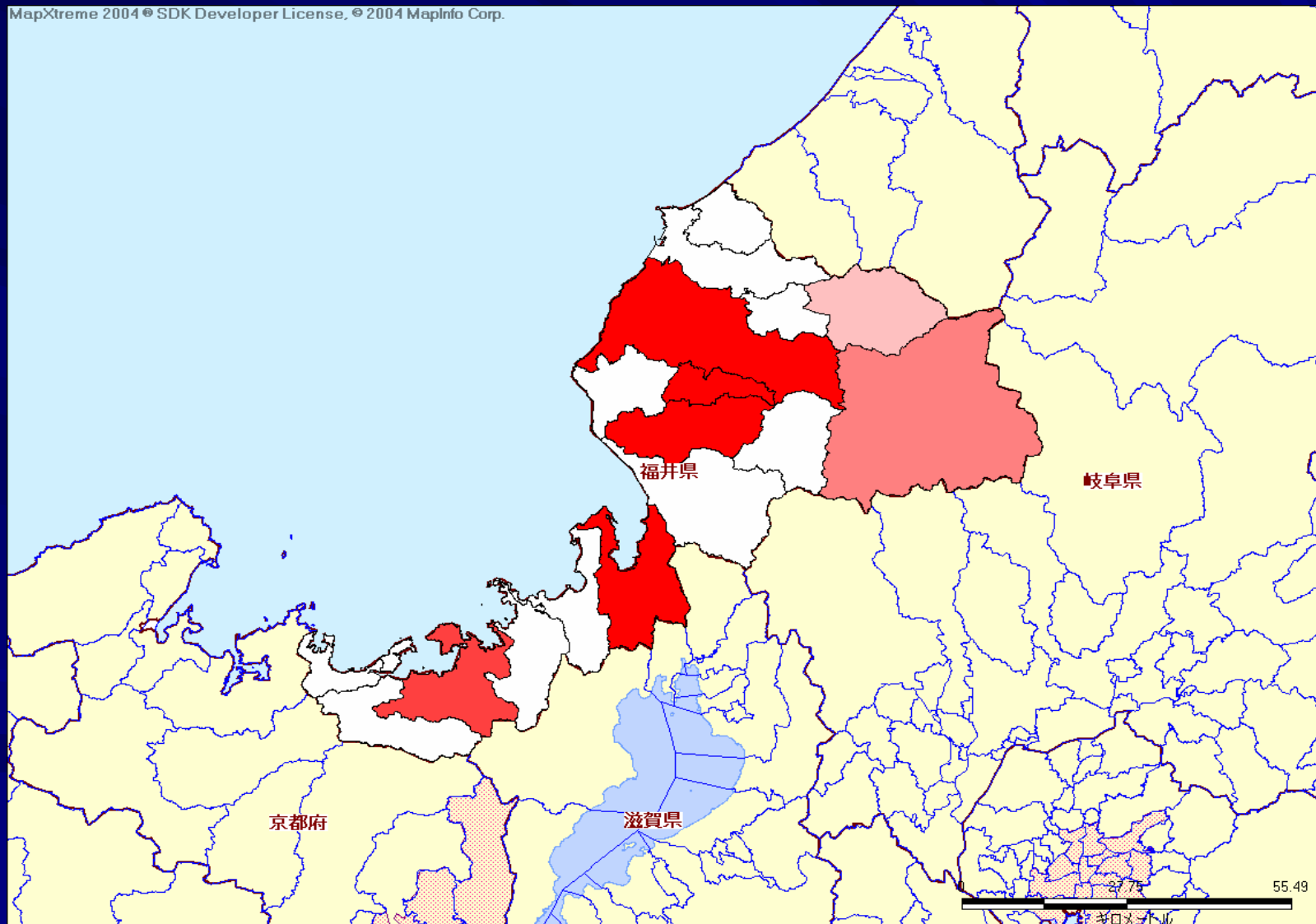
- 統合型GISで整備したデータの活用
- 全職員が利用できること
- 操作性・処理速度が満足できること
- 部署間のセキュリティに配慮
- ローカルデータが取り込み可能

# 町丁別人口分布図 (H12国勢調査)



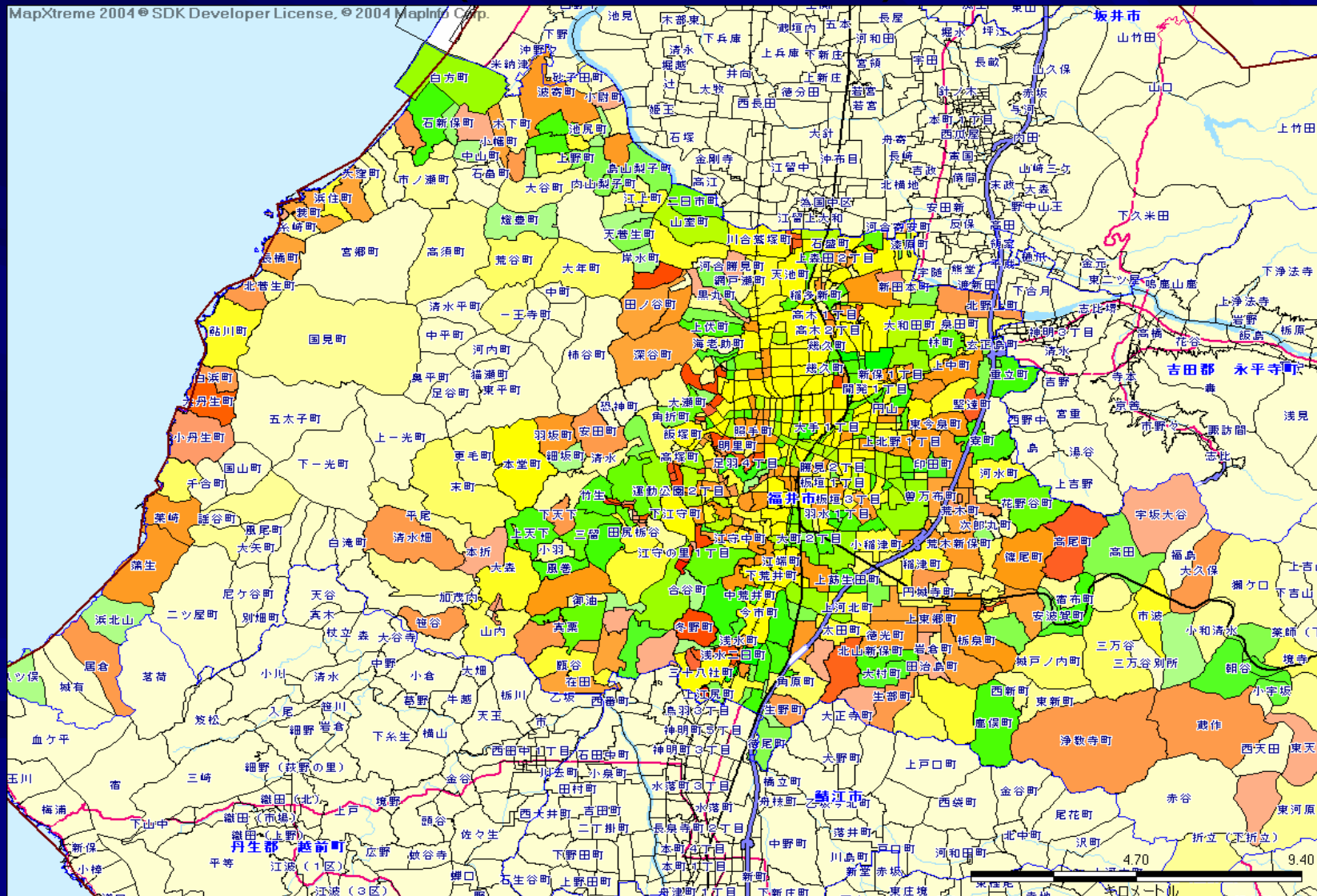
# 福井県内市町別工場数 (H15工業統計)

MapXtreme 2004 © SDK Developer License, © 2004 MapInfo Corp.





# 総人口・昼間人口(オーバーレイ) (H12国勢調査)



# 今後の課題

- 職員のスキルアップ(分析手法)
- 職員への啓発
- 分析機能のバージョンアップ
- 統計データの維持・更新

ご静聴ありがとうございました